平成26年夏の気温観測結果

～横浜市のヒートアイランド状況～

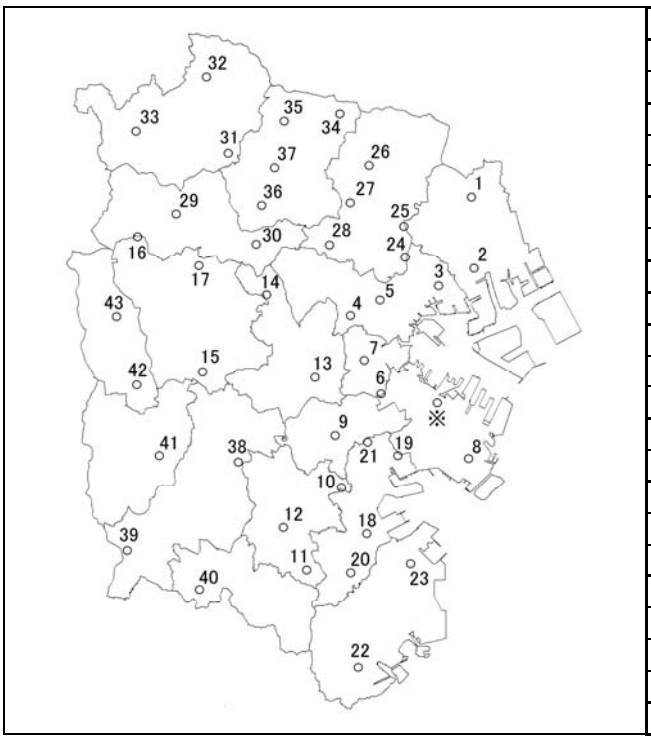
環境科学研究所　○山下　理絵
小倉　智代
内藤　純一郎

1　はじめに

横浜市環境科学研究所では、市内のヒートアイランドの実態を把握するため、平成 14 年から市内の気温観測の調査研究を行っている。気温観測地点は、平成 14 年は 14 地点、平成 15 年と平成 16 年は 31 地点、平成 17 年から約 70 地点まで増やし、平成 24 年からは 43 地点で気温観測を行っている。今回、平成 26 年夏の（７～８月）の気温観測結果を解析したので概要を報告する。

2　観測方法

横浜市内の小学校 42 地点及び当研究所の百葉箱内にデータロガー付サーミスタ温度計を６月に設置した。43 地点の観測位置を**図１**に示した。観測は１時間毎正時の瞬間値の気温をデータロガーに蓄積し、９月上旬にデータの回収を行った。気温の分布図は、最小二乗法(Kriging)による空間予測による補間を行い、GIS ソフトによって作成した。横浜地方気象台の観測値は横浜地方気象台提供のデータを使用している。



No	区	設置施設	No	区	設置施設
1	鶴見	末吉小学校	23	金沢	並木第一小学校
2		生麦小学校	24	港北	港北小学校
3	神奈川	子安小学校	25		菊名小学校
4		三ツ沢小学校	26		新吉田小学校
5		斎藤分小学校	27		新羽小学校
6	西	東小学校	28		小机小学校
7		平沼小学校	29	緑	新治小学校
8	中	本牧南小学校	30		緑小学校
9	南	大岡小学校	31	青葉	東市ケ尾小学校
10	港南	上大岡小学校	32		荏子田小学校
11		港南台第一小学校	33		恩田小学校
12		野庭すずかけ小学校	34	都筑	山田小学校
13	保土ケ谷	桜台小学校	35		都筑小学校
14		上菅田小学校	36		都田西小学校
15	旭	万騎が原小学校	37		茅ケ崎台小学校
16		若葉台小学校	38	戸塚	柏尾小学校
17		四季の森小学校	39		俣野小学校
18	磯子	杉田小学校	40	栄	笠間小学校
19		根岸小学校	41	泉	東中田小学校
20		さわの里小学校	42	瀬谷	原小学校
21		環境科学研究所	43		相沢小学校
22	金沢	六浦小学校	※	横浜地方気象台	

図１　観測地点

3　結果

（１）今年の夏の特徴

今年は、７月後半から太平洋高気圧に覆われ、晴れる日が多くなったが、８月後半から低気圧や前線などの影響で天気がぐずつき、気温が低下した。そのため、今年の横浜の夏は、過去４年に比べると暑くなかった。

（２）平均気温分布（**図２**）

平均気温は、北東部（鶴見区、港北区、神奈川区など）で高温となる傾向がみられた。一方、栄区や金沢区の円海山周辺地区、瀬谷区、泉区、戸塚区や港南区の舞岡・野庭地区、旭区の大池・今井・名瀬地区といった大規模な緑地がある地域では低温となる傾向がみられた。

鶴見区生麦で最も高い 27.1℃、港南区港南台で最も低い 25.7℃を観測し、観測地点間で最大 1.4℃の差がみられた。

（３）熱帯夜日数分布（**図３**）

横浜港周辺（鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区など）で熱帯夜が多く観測された。

神奈川区新子安で最も多い 31 日、緑区新治町で最も少ない 7 日を観測し、観測地点間で最大 24 日の差があった。（横浜地方気象台では 21 日）。

（４）真夏日日数分布（**図４**）

北東部（鶴見区、港北区、都筑区、神奈川区、西区など）で高温となる傾向がみられた。

真夏日日数は鶴見区生麦で最も多い 41 日、港北区港南台で最も少ない 26 日を観測し、観測地点間で最大 15 日の差があった（横浜地方気象台では 38 日）。

（５）30℃以上の時間数

30℃以上になった延べ時間数は観測期間の 1,488 時間中、都筑区東山田で最も多い延べ 317 時間、港南区港南台で最も少ない延べ 120 時間を観測し、観測地点間で最大 197 時間の差がみられた。

（６）最高気温

最高気温は、７月 25 日午後２時に鶴見区生麦で 37.0℃が観測された（横浜地方気象台の最高気温は同日の 35.2℃）。

４　まとめ

横浜市内 43 地点の平成 26 年夏の（７～８月）の気温観測データを用いて、平均気温、熱帯夜日数、真夏日日数、30℃以上の時間数、最高気温などの解析をした結果、横浜市の北東部と横浜港周辺で高温になるヒートアイランド現象が、昨年同様に見られた。

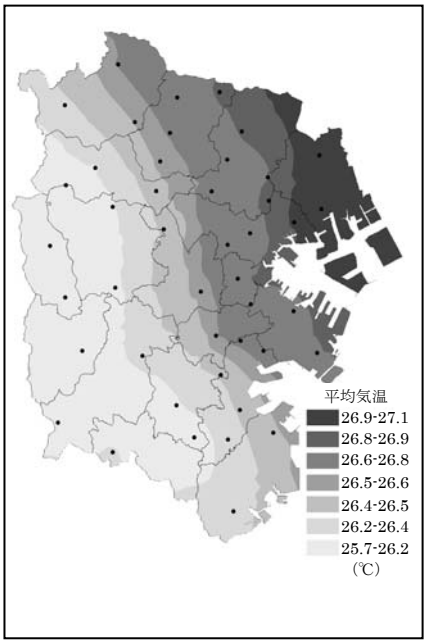


図２　平均気温分布

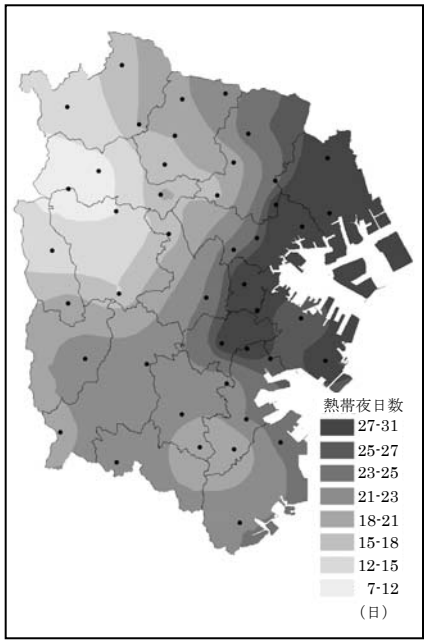


図３　熱帯夜日数分布

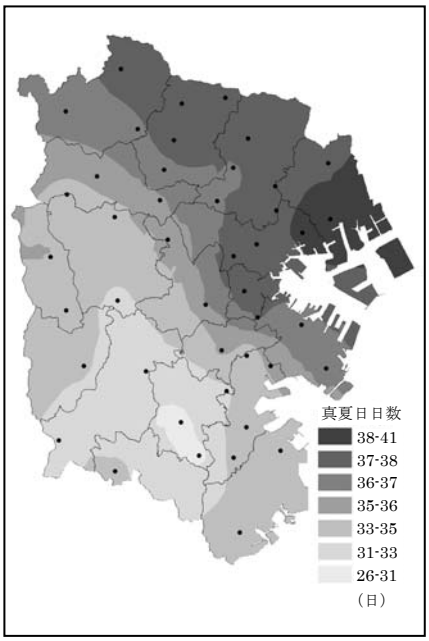


図４　真夏日日数分布